



小雨の中でも、迫力の演技！第69回体育祭



雨天予報のなか、前日の予行と本番のプログラムを急遽変更。4年ぶりに全年次を東軍・西軍・南軍・北軍の4ブロックに分け、それぞれの総大将と将軍のもと白熱した闘いを繰り広げた。

3つの新種目

- ①1年次種目の“ムカデ競争”はクラスの団結力が試された。
- ②“ブロック対抗玉入れ”は4軍の総大将が籠を担いで、玉を入れられないように逃げ回るといった内容に、場内で笑いが起きた。
- ③“縦割リレー”では3つの年次がバトンを繋ぐという友情リレーが見られた。



3年次生が見事なパフォーマンスで締めくくる！

応援合戦では事前準備や予行での全体練習など2年次・1年次をしっかりとまとめ、本番ではブロックごとにダンスやパフォーマンスなど、チームの団結力で大いに盛り上がった。

年次種目の騎馬戦では、雨が降る中、見る者を圧倒する激しさと熱気で好試合が連続し、とても印象深い種目になった。

みんなの協力があってこそその成功！

それぞれの種目で順位はついたが、みんなが流した汗と涙は、最高に輝いていた。素晴らしい体育祭を実現できたのは、自治会員一人ひとりの頑張りはもちろん、企画や準備に携わった執行部や部活動の部員、先生方、来賓の方々や地域の方々など、多くの人たちの協力のおかげです。芦高記念祭のひとつである体育祭の良き伝統を引き継いでくれたことに感謝します。

生徒課 山内 陽一郎



スリーセブン 芦高生が活躍！「芦屋777プロジェクト」

芦屋市制77周年「芦屋777プロジェクト」とは、芦屋市がロケ地となった名作「ウルトラ警備隊西へ」から50年、再び「ウルトラセブン芦屋へ」として、芦屋の魅力を全国に発信する企画です。芦高生は、地域の活性化

に運営・イベント出演と大活躍をしました。

- ①「転落防止!! ALL 芦屋で命をまもる」8月17日(木)芦屋市内にあるJR、阪神阪急の4駅に立ち、ボランティア部やコーラス部等が駅ホーム転落防止のチラシを配り、市民の協力を呼びかけました。
 - ②「ふれあいカフェ」での「書のワークショップ」8月25日(金)書道部
 - ③メインイベント「ウルトラセブン芦屋へ」8月27日(日)精道小学校
- 放送部は司会進行、自治会執行部とボランティア部は受付・警備を担当。体育館においてギター研究部による演奏、書道部による書道パフォーマンスを披露しました。また、「子ども新聞を作ろう」での神戸新聞記者の協力のもと、芦高生が号外を作成配布しました。

生徒の感想

- ・「子ども新聞を作らせて頂く前は、語彙力はないし、取材を自分でするなんて出来るかなーという不安と、神戸新聞の記者の方に直接教えてもらえるという期待がありました。
- ・実際に教わってみて、新聞は見出しや写真など本当に沢山の工夫がされている事が伝わってきて、いつも普通に読んでいる新聞の凄さを感じました！」
- ・「今回は皆が色々な視点から777プロジェクト取材し、地域の方との繋がりや777に参加できたという事をカタチにできて良かったです。『また新聞作ってみてー』と言って下さったので、書道部の活動を新聞にして学校に貼ったりすると、来年に予定している“県政150周年イベント”の時には、より多くの芦高生が新聞作りに参加するきっかけになるかなと思いました」



芦高 Topics

第70代自治会副会長

【黒柱つくし】

体育祭の準備は、8月のオープンハイスクールから始まりました。それから2か月は忙しい日々が続きました。次々と起きる問題、大量の訂正、そろわないメンバー。苦しいときもありましたが、1・2年生が協力し合って乗り越えてきました。予行、当日に突然のタイムテーブル変更もあり、ばたばたしましたが、無事終了させることができました。協力してくださった方々、本当にありがとうございました。



【久永晃誠】

今年の体育祭は去年と違い、4ブロックに分けて行いました。そして縦割リレーや玉入れなど新種目も追加し、新しいことに挑戦した体育祭だったと思います。天候の影響により、プログラムの変更もありましたが、みなさんは体育祭を楽しむことができましたでしょうか？行事もひと段落しました。今年も残り少ない学校生活を楽しみましょう！